



建交労青年部反核トラックCスタート！ 川崎市役所前で市民に訴える宣伝・署名行動



建交労青年部による毎年恒例の反核トラックキャラバンは、7月30日早朝に東京都庁前での出発集会後、8月4日の広島平和記念公園到着に向けてスタートしました。

今年の反核トラックキャラバンは、国連で7月7日に核兵器禁止条約が締結される歴史的な到達点を踏まえた行動となり例年に増して意義深いとりくみとなります。

そのキャラバン隊の一行が最初に立ち寄った神奈川県川崎市役所前での宣伝・署名行動にはキャラバン本隊に加えて建交労中央本部の角田季代子委員長、福富保名書記次長、鈴木正明書記次長、建交労神田支部の中島均委員長、各支部の役員、さらには東京地評のなかまも東京から同行して宣伝行動を盛り上げました。

キャラバン隊を迎えた神奈川県本部では行動支援カンパを送るとともに、当日の行動には神奈川県南支部が対応しました。支部の斎藤副委員長が仕事の合間を縫って冷たい飲み物を差し入れし、宣伝・署名行動には須田執行委員と赤羽特別執行委員が参加をしてキャラバン隊を激励しました。



キャラバン隊は約1時間の行動を終えたあと、次の立ち寄り地である静岡をめざして出発しました。

あとに残ったなかまは、キャラバン隊が広島まで道のりを各地で“核兵器廃絶、原発なくせ”のアピールを市民に発信しながら無事に広島へ到着することを願って見送りました。

関東トラック協議会第13回総会川崎で開催 総会第2部は組織建設に向けた学習会実施

建交労関東トラック協議会は、7月30日の午後1時30分から川崎市内の施設“サンピアンかわさき”において第13回総会を開催しました。

総会は、石井勝巳幹事（栃木）の司会進行ですすめられ、主催者あいさつを行った中島均議長（東京）は、政治・経済をはじめトラック産業をめぐる情勢に触れながら、建交労の組織的な前進が困難を打開するもっとも確かな力になると強調しました。



主催者あいさつを行う中島均議長

つづいて佐藤章事務局長（神奈川）から1年間の経過報告と新年度方針が提案され、“関東トラック協議会5000人”の目標を掲げた組織建設の重要性が強調されました。その後、世永勝事務局次長（東京）による会計報告・予算提案、金崎美佐夫会計監査（神奈川）の会計監査報告、桜井康雄幹事（群馬）による次期役員候補の提案がされ、若干の討論時間のあとの採決では、すべての議案が全会一致で採択されました。

その後、休憩をはさんだ総会の第2部では、質疑応答を含めて1時間20分の学習会をおこないました。この学習会の講師は赤羽数幸中央本部顧問（神奈川県南支部特別執行委員）がおこないました。講演のテーマを“組織の拡大・強化とオルガナイザーの役割”とする話しは、建交労とトラックの部会の組織の現状・組織化の特徴や組織拡大にとっての重要な課題を指摘し「組織の減少に危機意識をもち、幹部が先頭に立って職場の多数派を本気でとりくむ意識改革の大切さ」が強調されました。

学習会が終了したあとは、奥貫岳史副議長が閉会挨拶をおこない、中島均議長の団結ガンバローで総会を成功裏に閉会しました。

なお新役員体制には、神奈川県南支部から佐藤章事務局長、大島信雄幹事、金崎美佐夫会計監査が引き続いて承認されました。

勤労者通信大学第2回学習会日程が確定 憲法コース修了に向け準備学習を根気よく

神奈川県南支部のなかまが受講している2017年勤労者通信大学（憲法コース）の第2回学習会の日程が下記のとおり決定しました。

第2回学習会では、受講者のみなさん全員が修了をめざす学習会となりますので、学習会に向けた準備としてテキストを読むことを呼びかけます。

受講者のみなさんは仕事や家族生活、組合活動にと忙しいなかでの学習活動ですが、自らの雇用と家族の生活を守り、労働者の劣悪な現状を変えていくためには欠かせない活動です。少しずつでも粘りづよく、根気よく日々の学習を続けましょう。

※勤通大第2回学習会
※学習会の会場

10月7日(土) 午後6時～7時30分
神奈川県南支部があるビルの3階会議室